

フィンドレー大学への協定校留学 月例報告（8月分）

留学先：フィンドレー大学

氏名：芦澤愛佳

【はじめに】留学までの大変だった出来事と、留学が始まってからのことについて両方話していこうと思います。

【ビザ取得】質問数があり得ないほど多いかつ、保存出来るタイムリミットがあったりするので、時間も手間もかかります。アメリカビザについてしか言えませんが、留学前二ヶ月前にはウェブサイトからビザ取得を開始したほうがいいです。

【フライト】私は直行便を選びました。同じく直行便で来た学生がほとんどでした。時間が十五分早まり少し焦りがあったけれど、問題なく出国準備を終えました。特に時間変更についての的大々的なお知らせがないため、時刻表をオンタイムでしっかり見ておくことをおすすめします。

【入国・大学到着】入国するときは短い身体検査と荷物受け取りのみで、ほとんどスムーズでした。大学の先生がバンで空港まで迎えに来てくれるので、メールをしっかりと確認しておく方が良いです。シェアハウスについたのが夕方四時くらいでしたが、初日は何も行事がなく、そのまま部屋に送られます。シャンプー、初日分の食料を確保していなかったのも、そこが後悔したところです。2日目にスーパーに連れて行ってくれるバンがでていたので、もし乗れたらそこで洗濯用洗剤などの生活用品を買っておくといいです。

【シェアハウス】まだ秋学期がスタートしていないので、ルームメイトはいませんが、ルームアシスタンスの人が一人既に住んでおり、仲良くなることができました。注意：寝具は多少持って行った方がいいです。部屋にはベッドのうえにマットレスがおいてあるだけなので、枕、掛け布団、シーツは持っていくのが吉だと思いました。私は幸いすべて持って行ったので大丈夫でしたが、他の学生は持ってきていなかったのも、数日我慢した人もいました。フィンドレーは、夏でも朝方とても寒くなるので、特に注意が必要だと思います。

【オリエンテーション】初めの一週間は、オリエンテーションの週間かつ現地の学生はまだ学校がスタートしていないので、人は少ないです。しかし、この週間は、1日にかなりの予定が詰まっているので、最初から体調を崩さないように気をつけた方がいいです。日本人のみではなく他の国から来ている留学生も沢山います。日本人以外の人や現地の人と、沢山交流するのが最初のコミュニティー作りに大きく関わってくると思います。自分のことをしっかり話せるような準備を日頃からしておくといいです。

ID 登録や個人情報について、コンピュータを使って行うものはとても複雑なので、分からない場合はすぐに周りの教員や友達に助けを求めた方がいいです。後になって問題になると自分が大変になります！

【食事】私は週に7回つまり一日一回食堂（ヘンダーソン）を使用できるミールプランをとりました。このミールプランは、留学に来る前にメールでフィンドレー大学とやりとりをし、公式のポータルサイトで決定します。人によっては、アンリミテッドプランや週に十回などを選んでいたりするので、よく考えて決定した方がいいと思います。食堂はビュッフェ形式なので、好きなものを好きな量食べることができます。食べ過ぎ注意です。しかし、ミールプランはかなり高いため、もっと節約したいと考えている人は、ミールプランをとらずにすべて自炊をする手段もあります。私は自炊がとても好きですが、食事を作る時間が少しもったいないと感じてしまい、せっかくの食堂も体験したかったので一日一食ミールプランにしました。私は特に不味いと感じることはないのですが、現地の学生で食堂の食べ物が美味しいと言う人は少ないです笑。

【アメリカに来てからの正直な感想】

寂しさや不安は初めの1、2日がピークでした。食事は、お米も毎日食べられるし、食堂以外の購買では一応お寿司も買えるので（高すぎるから買ったことない）、特に困ったことはないです。イベントに参加すればするほどコミュニティーが広がるので、意識して参加して意識して話しかけることが大切だと思います。日本と違い、服装を誰にでも褒めるところがおもしろいポイントです。ちょっとしたびっくりポイントは、①バッグを持ち歩かない（手ぶら）②みんな短パン履いてる③傘指さない④歩かないです。このすべての理由は車生活から来ているのかなと思いました。

